



Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



冬の鹿野は雪が積もる地区です。  
①出穂後8月の田んぼ  
②縦刈りの様子。③ほうれん草ハウスでのお二人の素敵な笑顔。



## FuKuPuKu Farm

### 白井 智規さん (43)・白井 裕貴さん (41)

Sirai Tomonori

Sirai Yuuki



#### Profile

智規さんは鹿野出身、裕貴さんは埼玉県出身。  
2012年に「ふくづくファーム」を立ち上げ、米とほうれん草を生産してきました。新聞やテレビなどメディアへの出演も多数。



#### 育てているお米の種類

##### コシヒカリ

山口県で一番おいしい鹿野のコシヒカリ！もちもちしていて、冷めても米が立つのが特徴。塩と相性が良く、おにぎりにも適しています。

の方もたくさんいます。お米の消費量が下がるなかでも、「おいしいもの食べたいたい」という思いは消えないし、お米と日本人は切り離せるものではない」というのがお二人の考え方です。ある時には、東京在住の常連のお客さんが「いつかこのおいしい米を作る人に会いたい」と思っていたことがあります。市場に出回らないおいしいお米を買えることもあったりするんですね！」

この先やってみたいと思っているのが、糖尿病の人でも安心して楽しむことができる低糖質な品種の栽培。「ふくづくファーム」という名前に込めた「みんなが幸福で満腹になれ社会にしたい」という思いを表現していくため、白井さんご夫妻はこれからも明るく丁寧にお米と向き合っていきます。

る方もたくさんいます。お米の消費量が下がるなかでも、「おいしいもの食べたいたい」という思いは消えないし、お米と日本人は切り離せるものではない」というのがお二人の考え方です。ある時には、東京在住の常連のお客さんが「いつかこのおいしい米を作る人に会いたい」と思っていたことがあります。市場に出回らないおいしいお米を買えることもあったりするんですね！」

この先やってみたいと思っているのが、糖尿病の人でも安心して楽しむことができる低糖質な品種の栽培。「ふくづくファーム」という名前に込めた「みんなが幸福で満腹になれ社会にしたい」という思いを表現していくため、白井さんご夫妻はこれからも明るく丁寧にお米と向き合っていきます。



RICE is LIFE.

# お米

# と 私



## コシヒカリの聖地・鹿野

鹿野の田を見回してしまず驚かされるのは、しっかりと雑草が刈られた畑の美しさです。寒暖差のある気候と、山から流れてくる栄養分たっぷりの水、そして農家のゆまぬ努力によつて、鹿野の米はぎゅっとおいしさを蓄えます。

実は県内で育てられているコシヒカリの種もみ（「お米の種」）の多くが鹿野産。種が悪ければ、当然良い稻は育ちません。それだけに、種場になることは農家にとって非常に名誉なことです。厳しい基準をクリアする上質な種のみを生産するために極限まで手をかけた証ひひとつが、美しい畔や雑草の少ない田の風景。鹿野はまさに、コシヒカリの聖地なのです。

田植えの時期と、稻刈りの時期、親戚みんなで集まって作業を進めます。大人たちは稻を植え、子供たちは川遊びを兼ねて苗の入ったトレーを洗う。作業の合間にみんなと一緒に「お昼ご飯を食べる…」

「みんなでわいわい作つたものの方が、絶対に美味しいって思うんです」

そんな子供時代の風景を胸に、「会社」として米の生産をするようになつた今でも、田植えと稻刈りの時期には従業員みんなでぎやかに裕貴さんの手料理を食べます。

#### 「マイ農家」のススメ

ふくづくファームの米にはファンがとても多く、親子2代や3代に渡つて食べ続けてい